

日本の電池産業が勝つための蓄電池産業戦略 7つのテーマへの政策提言概要

| No | 蓄電池戦略テーマ | 提言 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | 国内基盤拡充に向けた政策パッケージ化 | <ul style="list-style-type: none">・ 国内150GWhを目指し民間投資等の促進支援の継続、補助率の向上・ 2035年目標の設定に向けた議論の実施 |
| 2 | グローバル提携/スタンダードの戦略的形成 | <ul style="list-style-type: none">・ グローバルでのシェア拡大を目指した資金や生準力等に対する支援の検討・ 日本から米国に輸出する日本製の電池・部材・設備の関税率フリー |
| 3 | 上流資源の確保 | <ul style="list-style-type: none">・ 調達リスクが大きい資源(Li、Ni、Co、黒鉛、蛍石、リン、銅)について、特定国に依存しないサプライチェーン構築のため、<ul style="list-style-type: none">① 日本における精錬事業立ち上げ支援② JOGMEC支援制度、ESPAの条件緩和③ オーストラリア・チリ・インドネシア等資源国との関係強化 |
| 4 | 次世代技術の開発 | <ul style="list-style-type: none">・ 将来の競争力のある再精錬工場の国内立地を目指した低CO2&低コスト リサイクル技術に対する支援の継続、全固体電池等の技術開発に対する支援の継続 |
| 5 | 国内市場の創出 | — |
| 6 | 人材育成・確保の強化 (2030年 3万人) | <ul style="list-style-type: none">・ 関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの取組の全国展開、高専・大学へのカリキュラムの折込 |
| 7 | 国内の環境整備強化 | <ul style="list-style-type: none">・ リユース・リサイクル市場創出に向けたBaaS事業実証支援・ リサイクルのためのブラックマスのルート構築に向けたルール策定（HSコード統一等）・ リサイクル国内エコシステム構築に向けた韓国等との国際連携支援 |